

# 工事現場周辺への対応方法 騒音または振動防止の方法 (バックホウ)を使用する作業

記載例

該当する事項に○印をしてください。

項 目		内 容		
工事現場における措置	住民への周知	① 周知の方法について	対応方法	実施年月日(予定)
			1.説明会	R ○○○.○○○ (実施・予定)
			2.各戸説明	R . . (実施・予定)
			3.地元役員等折衝	R ○○○.○○○ (実施・予定)
			4.周知文配布	R ○○○.○○○ (実施・予定)
			5.掲示板の設置	R . . (実施・予定)
	6.その他( )	R . . (実施・予定)		
	現場周辺状況	② 周辺に住宅、教育施設、病院等の有無について	1.有(約30m以内) a.住宅(密集・普通・疎) b.病院 c.教育施設 d.住宅(密集・普通・疎) e.精密機械工場等 f.その他静穏を必要とする施設 2.無	
			主として通過する道路 ○ 1.幹線 2.細街路)	
	公害防止の管理体制	④ 公害防止の管理体制について	①.苦情対応責任者 a.選任(常駐・非常駐[代行者選任]) b.自主管理責任者兼務 c.所長兼務	
			2.苦情専用窓口設置 ○ 3.ガードマン配置 4.その他( )	
	苦情が生じた場合の措置	⑤ 周辺のパトロールの実施について	1.定期的に実施 ○ 2.随時実施	
		⑥ 苦情発生時の処理体制について	①.現場責任で対応 2.本社責任で対応 3.その他( )	
		⑦ 工場現場での措置について	1.防止対策の強化 (a.防音塀 ○ b.防音シート c.防音パネル d.防音カバー)	
			2.作業時間、曜日等の変更 3.工法、建設機械の変更	
	⑧ 搬出入道路の措置について	4.動力源の適正配置 ○ 5.陳情者に誠意を持って説明		
		6.その他( )		
作業に係る措置	建築機械工法	⑨ 使用する建設機械について	①.低騒音・低振動型建設機械 2.標準型建設機械 3.その他	
		⑩ 標準型建設機械を使用する場合その選定の理由について	1.低公害型の開発普及が十分でない 2.短期間 3.小規模作業 4.敷地大 5.資金面 6.周辺に民家なし 7.施主の指示 8.設計段階で決定済 9.その他( )	
		⑪ 採用する工法について	①.低公害型工法 2.標準型工法 3.その他	
	公害防止対策	⑫ 標準型工法を使用する場合その選定理由について	1.該当する低公害型工法なし 2.施工上困難 3.短期間 4.資金面 5.施主の指示 6.周辺に民家等なし 7.設計段階で決定済 8.敷地大 9.その他( )	
		⑬ 公害防止の対策内容について	1.防音塀 ○ 2.防音シート 3.防音パネル 4.防音カバー 5.動力源の適正位置 6.作業時間帯の配慮 7.その他( )	
⑭ 対策の範囲について		1.防音塀【a.現場周辺全て b.民家側全て c.民家側一部 d.機械周辺】 ○ 2.防音シート【a.現場周辺全て b.民家側全て c.民家側一部 d.機械周辺】 3.防音パネル【a.現場周辺全て b.民家側全て c.民家側一部 d.機械周辺】 4.防音カバー【a.現場周辺全て b.民家側全て c.民家側一部 d.機械周辺】		
その他	⑮ 対策を講じない場合その理由について	1.周辺に民家なし 2.短期間 3.小規模作業 4.その他( )		
	⑯ 本作業の今後の予定について	1.3ヶ月以内に終了 ○ 2.3カ月後も継続		
本作業の公害防止自主管理責任者	⑰ 前回は届出した作業で苦情等が生じたために、特に講じた措置について	1.有(措置の内容) ○ 2.無		
		氏 名	代行者も選任している場合その氏名	
		撰津 二郎		